



メッセ

Animals of Meissen

動物園展

2019年 7月6日 | 土 | ~ 9月23日 | 月・祝 |

Panasonic Shiodome Museum of Art | ROUAULT GALLERY

パナソニック 汐留美術館

【休館日】水曜日、8月13日(火)~15日(木) 【開館時間】午前10時より午後6時まで(入館は午後5時30分まで)

※8月2日、9月6日は夜間開館 午後8時まで(入館は午後7時30分まで) 【主催】パナソニック汐留美術館、東京新聞

【後援】ドイツ連邦共和国大使館、港区教育委員会 【入館料】一般1,000円
 65歳以上900円/大学生700円/中・高校生500円/小学生以下無料 ◎20名以上
 ともに 未来への団体の100円割引 ◎障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます。

1. (メーサー-ル砲花裝飾蓋付昆虫彫造かし産(部分)) ヨン・ゾアム・クントラー 1820-1920年頃 個人蔵 2. (メーサー-ル砲花裝飾蓋付昆虫彫造かし産) ヨン・ゾアム・クントラー 1820-1920年頃 個人蔵
 3. (メーサー) マックス・エッカー 1927年 個人蔵 4. (メーサー) ヘルマン・フリック 1908-1923年頃 JS collection 5. (メーサー) エーリッヒ・オスカー・ヘーセル 1924-1934年頃 JS collection
 6. (メーサー) オットー・ヤール 1903-1923年頃 個人蔵 7. (メーサー-ル砲花裝飾蓋付昆虫彫造かし産(部分)) ヨン・ゾアム・クントラー 1820-1920年頃 個人蔵 8. (メーサー) フランツ・ビヒャー 1907-1923年頃 JS collection
 9. (メーサー) マックス・エッカー 1927年 個人蔵 10. (メーサー-ル砲花裝飾蓋付昆虫彫造かし産(部分)) ヨン・ゾアム・クントラー 1820-1920年頃 個人蔵 11. (メーサー) マックス・エッカー 1927年 JS collection



ドイツと日本
 Zukunft gestalten





マイゼン Animals of Meissen 動物園展

みどころ

・マイゼンの「動物」にテーマを絞った展覧会

・出品作品の9割が初公開

・約120点の作品の8割が彫像作品



2.



3.



4.



5.

ヨーロッパ初の硬質磁器製造に成功し1710年に王室磁器製作所設立を布告したドイツのマイゼン磁器製作所。本展ではマイゼンの動物に着目ご紹介いたします。

19世紀後半から20世紀初頭にかけてヨーロッパの美術工芸界で流行したアール・ヌーヴォー様式はマイゼンにも影響を与え、カップ&ソーサーから彫像にいたるまで幅広く取り入れられました。また同時期のマイゼンでは、釉薬の下に絵付けする釉下彩や釉薬の上から描いた絵の具を沈みこませる釉中彩といった技法が多用されるようになり、淡く繊細な色調の作品が作られていきました。

一方、動物をモチーフとした美術作品は時代や地域を問わず制作されてきましたが、それらは何かを象徴するために描かれたり成形されたりするものもあれば、そのもの自身の愛らしさを伝えるために制作されるものなど様々で、マイゼンでも同様でした。とりわけアール・ヌーヴォー期の動物作品は、模様から表情まで、動物のしなやかさを表現することに成功し、リアルさと愛らしさを見事に両立させたのです。

本展では、そのようなアール・ヌーヴォー期の作品を中心に構成しています。磁器や炆器に加え、カタログなどの資料類も展示し、新しいアプローチでマイゼンの造形と装飾をたどります。



6.



7.



8.

1. (ライネケのキツネ) マックス・エッカー 1924~1934年頃 個人蔵 2. (果実をくわえたオオハシ) ハウル・ヴァルター 1924~1934年頃 個人蔵 3. (オレンジのウールブラケット) マックス・エッカー 1929~1934年頃 個人蔵 4. (二匹の猫) オットー・ヒルト 1834~1940年頃 個人蔵 5. (二匹のフレンチブルドッグ) エーリッヒ・オスカー・ハーゼル 1924~1934年頃 JS collection 6. (猿の楽団) ヨハン・ヨアヒム・クンドラーとベーター・ライニク 1820~1920年頃 個人蔵 7. (人物像水注「四大元素の寓意」) ヨハン・ヨアヒム・クンドラー 1820~1920年頃 個人蔵 8. (熊とカエル) アーサー・ラング 1901~1923年頃 JS collection

●トークショー「マイゼン 動物奇想天外！」

講師 | アートテラー・とに〜氏
高橋雅雄氏 (理学博士)

「奇想天外」をキーワードに、マイゼンの超絶的な技法やモチーフとなった鳥たちの生態など、展覧会を楽しむトピックの数々をアートテラー・とに〜氏と鳥博士・高橋雅雄氏が語りつくします。

日時：7月28日(日) 午後2時~3時30分 会場：パナソニック東京汐留ビル5階ホール

定員：150名 聴講費：無料 (ただし本展の観覧券が必要です)

●お申し込み方法 ハローダイヤル(03-5777-8600)へお電話にてお申し込みください。

●5月13日(月)より受付開始(受付時間午前8時~午後10時)

●必要事項 ①イベント名 ②参加人数(一度にお申し込みいただける人数は2名まで) ③氏名 ④住所 ⑤電話番号

*ご予約の際は簡単なアンケートにご協力いただけます。*予約受付は先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。*当日は予約時にお知らせする整理番号を活用してご入場いただけます。*お申し込み時にいただいた個人情報、本イベントの受講管理の目的でのみ使用します。なお、お気づかりした個人情報は、上述の目的での使用に同意いただいたものとします。*定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。*未就学児はご遠慮ください。



アートテラー・とに〜氏 高橋雅雄氏

●学芸員によるギャラリートーク
7月13日(土)、7月19日(金)、
8月23日(金)いずれも午後2時~
参加無料、申込不要
(入館には展覧会観覧券が必要です)

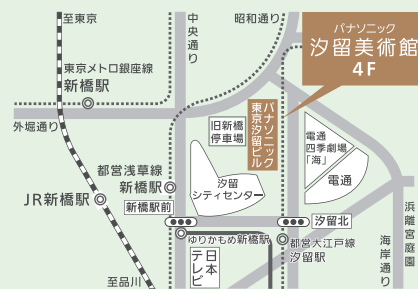
●フライデー・ナイト
8月2日と9月6日は夜間開館のため午後8時
まで開館!(ご入館は午後7時30分まで)
◎午後6時以降ご入館のお客様に特典をご用意して
お待ちしております。*詳細は当館HPをご確認ください。

●同時開催 | ルオーギャラリーにて、パリより作品を借用し、ルオーに関する小企画展を開催します。
●次回予告 | ラウル・デュファイ展 2019年10月5日(土)~12月15日(日)

ぬりえ
プレゼント

1710年1月23日に王立磁器製作所設立が布告されたことにちなみ、会期中毎月23日にぬりえをプレゼントいたします。お一人様1枚まで、種類は選べません。

開催日 | 7月23日(火)、8月23日(金)
9月23日(月・祝) 各日先着200名



JR「新橋」駅より徒歩約8分
東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分
都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分

Panasonic Shiodome Museum of Art | ROUAULT GALLERY

パナソニック 汐留美術館

東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階
お問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600
<https://panasonic.co.jp/lis/museum/>